

水素エネルギーシステムを支えるエラストマー材料技術

主催：日本ゴム協会研究部会 水素機器用エラストマー材料研究分科会

協賛：日本化学会、高分子学会、自動車技術会、石油学会、繊維学会、日本機械学会、
日本接着学会、日本合成樹脂技術協会、日本材料学会、日本トライボロジー学会、
日本レオロジー学会、日本複合材料学会、プラスチック成形加工学会、
マテリアルライフ学会（順不同）

2014年、燃料電池自動車市場に投入され、すでに80か所を超える商用水素ステーションが開設されている。今後のさらなる普及拡大に向け、水素エネルギーシステムを支えるゴム・エラストマー材料の高信頼性が求められている。本シンポジウムでは水素エネルギーシステムにおけるゴム・エラストマー材料の使用環境や技術課題、水素機器の高圧水素シール材として用いられている各種のゴム、エラストマー材料の開発の状況、解析技術進歩について報告していただき、水素機器用ゴム・エラストマー材料のさらなる信頼性の向上を目指した技術課題について議論する。

日時：2016年7月29日（金） 10時00分～16時55分

場所：工学院大学 新宿校舎28階 第1会議室
東京都新宿区西新宿1-24-2 TEL 03(3342)1211(代)
<http://www.kogakuin.ac.jp/facilities/campus/shinjuku/access.html>

受講料：日本ゴム協会会員 協賛団体会員23,760円 日本ゴム協会学生会員 5,400円
受講者が日本ゴム協会の正会員でない場合でも、ご所属の会社が法人としてゴム協会会員（賛助会員）の場合は2名様まで会員扱いの受講料で受付けます。

シニア制度対象会員 11,880円（60歳以上の正会員） 会員外 32,400円

申込方法：弊会ホームページ <http://www.srij.or.jp/>よりお申込みください。（定員80名）

送金方法：銀行振込（三井住友銀行 日比谷支店 普通No.7100847 一般社団法人日本ゴム協会）。
振込み手数料は受講者側でご負担ください。一度ご入金された受講料は返金いたしかねますのであらかじめご了承ください。開催日が近づきましたら、開催のご案内を発送いたします。

問合せ：一般社団法人 日本ゴム協会 第226回ゴム技術シンポジウム係

〒107-0051 東京都港区元赤坂1-5-26 東部ビル1階

TEL 03 (3401) 2957 FAX 03 (3401) 4143 E-mail: komatsu@srij.or.jp

10:00-10:05 開会のあいさつ 水素機器用エラストマー材料研究分科会副主査 古賀 敦氏

【座長】九州大学 藤原 広匡

10:05-10:55 高圧水素機器用エラストマー材料の水素特性評価の進捗
九州大学大学院機械工学部門・水素材料先端科学研究センター 教授 西村 伸氏

10:55-11:45 ガスバリア膜～基礎から応用まで～（仮）
明治大学理工学部応用化学科 教授 永井 一清氏

【座長】九州大学大学院 西村 伸

13:10-14:00 水素ステーションと要素機器（仮）
日立オートモティブシステムズメジャメント（株） 櫻井 茂氏

14:00-14:50 燃料電池自動車の開発と今後の展望（仮）
（株）本田技術研究所 齊藤 信広

【座長】NOK(株) 古賀 敦

15:10-16:00 水素ステーション機器用 O リング材料の耐寒性向上（仮）
高石工業（株） 高橋 良氏

16:00-16:50 高圧水素によるゴム材料破壊のその場解析（仮）
九州大学 水素材料先端科学研究センター 特任助教 小野 皓章氏

16:50- 閉会のあいさつ 水素機器用エラストマー材料研究分科会主査 西村 伸

※プログラムは一部変更になる場合がございます。

☆お申込みはホームページ <http://www.srij.or.jp/>からお願いします。